

学校の教育目標

志をもち、よりよい社会の創り手として未来を切り拓く子どもの育成

【教育課題】

- 主体性が育っていない
 - ・ 指示待ち、他者に依存し自分の人生を歩んでいない
 - ・ 間違ふことへの抵抗
 - ・ 自信のなさから一步を踏み出すことができない
- コミュニケーション能力が身につけていない
 - ・ 他者の立場で、気持ちを考えることができない

【経営課題】

- 教員の生徒自身に考えさせる指導が十分でない
 - ・ なぜするのか？ ・安心して失敗できる環境
 - ・ 振り返りを自己認識、成長に生かすことが出来ない
 - ・ 教員が手を入れすぎている(教師のスキル不足)
- 行事や分掌、役割に追われ時間的な余裕がない
 - ・ より少なく、しかしより良く(行事の精選、一点集中)

重点目標

「自律」の習慣と「対話」のスキルを活かし、「協働の良さ」を理解できる生徒の育成

- ※ 自律…心理的安全性、自分の行動を自身で選択・調整・決定、成功体験
- ※ 対話…他者の考えや思いを傾聴、多様性の理解、成功体験を共有、所属感
- ※ 協働の良さ…他者との交流の中での成功体験、信頼関係の構築

経営の重点

取組における協働的な場の設定と「協働の良さ」を感じる仕組みづくり

- ※ 取組の目的意識の確認→他者と協働する場の設定→「協働の良さ」を振り返る場の設定

「自律」の習慣→学ぶ習慣

自分の行動を自分で調整・選択・決定

- 生徒による目標設定のために
 - ※安心して失敗できる環境づくり
 - ※目的の明確化
 - ※自己認識する力(メタ認知)
 - ・自分に必要なスキルを判断
 - ※成長の目標設定
 - ※行動の目標設定
 - ・すること、しないことの決定
- 学び方の獲得のために
 - ※基本:InPut→OutPut
 - ※生徒同士の学び合い
 - ※ICTを活用した個別最適な学び
- 学びの習慣化のために
 - ※学びを通した感動体験
 - ・探求することの喜び
 - ・自分で分かることの喜び
 - ・他者と協働することの喜び
 - ※指導技術の向上
 - ・教える→問う授業への転換
 - ・少人数の利点を生かした授業
 - ※学びに対する振り返り
 - ・知識、技能の成長を実感
 - ・成長の喜びの再現欲求
 - ※教員からの評価(声かけ)
 - ・成長の実感、成長意欲の向上
 - ※行動に対するリフレクション
 - ・自分をコントロールする力
 - ・出来た要因(再現性)
 - ・出来ない要因(改善点)

「対話」のスキル→つながるスキル

他者の思いを聞き取る・多様性を理解

- 多様性の理解のために
 - ※3つの段階の考え方の獲得
 - ・他者の考えに違和感を抱くのは当たり前(メタ認知)
 - ・自分の価値観で即断しない
 - ・他者の考えの背景を考える
 - ※人権・同和教育の充実
 - ※道徳教育の充実
 - ※特別支援教育の充実
 - ・合理的配慮への理解
 - ※帰りの会での振り返り
 - 心理的安全性の確保
 - いじめの未然防止
- 他者の考えを聞き取るために
 - ※他者の考え・発言を否定しない
 - ※自分とは考えが異なる他者を排除しない
 - ※他者の失敗を笑わない
 - ※行動に対する振り返り
 - 助けを求めることが出来る
 - 生徒同士の学び合いが出来る
 - 安心して意見を言える
- つながるために
 - ※協働での成功体験
 - ・他者からの評価
 - ・自己有用感
 - ※自己認識
 - ・他者への関わり方の理解
 - ・SCとのカウンセリング

主体性→生涯成長し続ける

自分にとってよりよい状態を自分で作る

- 安心して健康的な生活のために
 - ※基本的生活習慣の確立(健康な身体づくり)
 - ※ネグレクト、虐待等の把握
 - ※チームでの対応(ケース会議)
 - ・SSW、行政・医療機関と連携
- 人間関係の不安解消のために
 - ※不登校の予防、いじめの把握
 - ・各種アンケート、教育相談等
 - ※早期対応、早期解消
 - ・いじめ防止不登校対策委員会
 - ・SCとの連携
 - ※「対話」のスキルを育成
- 集団への所属感を得るために
 - ※生徒の協働による成功体験
 - ・目的の確認と目標設定
 - ・学び合いと感動体験
 - ・振り返りで成長を実感
 - ・他者評価で自己有用感
 - ・良好な人間関係と貢献意欲
 - ※学校外と協働による成功体験
 - ・「人権のまちづくり」と連携
 - ・小学校、PTA、地域と連携
 - ・地域社会への貢献意欲
- よりよい社会の創り手として世界を変える行動を起こすために
 - ※どんな人になりたいかを問う
 - ※キャリア教育の充実